

# 評価報告概要表

## ■第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
評価調査日	平成 29年 12月 18日 (月)

## ■福祉サービス事業者情報

名 称	救護院	種 別	救護施設
代表者氏名	施設長 山本 章友	開設年月日	昭和26年4月16日
設置者	社会福祉法人 三篠会	定員(利用人数)	60名(60名)
所在地	〒731-5143 広島県広島市佐伯区三宅2丁目1番2号		
電話番号	082-921-1122	FAX番号	082-921-7766
ホームページアドレス	<a href="http://www.misasakai.or.jp/about/">http://www.misasakai.or.jp/about/</a>		

## ■総 評

### 全体を通して(事業所の優れている点、独自に工夫している点など)

#### ◇特に評価の高い点

法人の理念・実践方針に解説を加えた手帳を全職員に配布して理解と周知を図り、期待する人材像を明確にしています。施設長のリーダーシップのもと職員が連携し総合力を発揮するとともに、利用者の主体性を尊重した施設運営が行われています。

定期的に第三者評価を受審し、福祉サービスの質の向上のための取組を組織的に行い、また公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のため、内部・外部監査の実施や法人内の施設間で財務等の相互チェックを行っています。

利用者処遇については、生活の場としての開放的な施設づくりを目指し、利用者の出入りを自由にしたことや、地域との交流を深めてきたことが挙げられ、プライバシー保護や過ごしやすい環境づくりのための個室化への取組が評価できます。経済的理由や障害などによって、在宅での日常生活が困難な人が対象の措置施設という制約を受ける中であって、独自の取組として、体力の維持や役割を持つことで生きがいのある生活を目指す「よろこびワーク」、生活の質の向上を目指す「スマイルサロン」、職員と楽しい時間を一緒に過ごす「あそぼう会」など、独自のサービスを提供していることも評価できます。

#### ◇改善を求められる点

福祉サービスの課題の解決や更なる充実のため、中・長期の事業計画及び収支計画が策定されることを期待します。また、福祉サービス計画において、PDCAサイクルが機能するよう計画の評価・見直しを行い、サービスの質を確保されるよう期待します。

## ■第三者評価結果に対する事業者のコメント・事業所のPR

今回上記総評のとおり高い評価をいただくことができました。この評価を誇りにさらに日々の業務に邁進するとともに、この評価に慢心することなく、改善の必要な課題に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

改善を求められた点については、隣接する養護老人ホームの移転計画が平成30年度中に決定の見込みなので、移転後の施設を活用した新しい取組を検討したいと思います。特に、当園は各種の障害や様々な事情を持って入所されるため、入所者一人ひとりのサービス提供のため、職員の創意工夫を引き出して参ります。

# 評価報告概要表

## ■評価分野別評価結果(分野別の特記事項)

I 福祉サービスの基本方針と組織	a	6	b	1	c	2	Na	0
<p>法人の理念・実践方針は、ホームページや施設内に掲示され周知が図られています。また、理念を解説した手帳「歩・実・心 あゆみのこころ」を全職員が常に保持し、業務中や研修時などに活用しています。経営状況も把握・分析し、事業計画は職員の意見を反映して策定されています。福祉サービスの質の改善に向けては、定期的に第三者評価を受審し組織的に取り組み、課題の改善を図っています。</p> <p>法人との関係や、措置施設であるということもありますが、利用者への福祉サービスの更なる充実のため、中・長期計画の策定が望まれます。</p>								

II 組織の運営管理	a	12	b	6	c	0	Na	0
<p>各種規程やマニュアルが良く整備されています。施設長は自らの役割と責任において、職員が働きやすい職場づくりに取り組み、人事労務環境の改善に力を注いでいます。また、目標管理のための個人面談などを通じ、人材育成にも取り組んでいます。さらに、事業計画や運営方針を公開し、事業・財務状況について内部監査、外部監査を受けるなど、運営の透明性を図っています。地域とは関係性を重視し交流を図り、施設の理解を得られるように努めています。</p> <p>今後は、地域の福祉ニーズへの対応や、ボランティアの受入れマニュアルなどの整備が求められます。</p>								

III 適切な福祉サービスの実施	a	16	b	2	c	0	Na	0
<p>利用者を尊重したサービスの提供や、利用者満足度の向上のための取組が行われています。また、全体連絡会や利用者が自由に意見を言える「しゃべりの場」など意見を述べやすい仕組みや、安全・安心なサービスの提供体制、感染症防止の体制が整備され、組織的な取組が行われています。</p> <p>改善点として、福祉サービスの定期的な評価・見直しや記録内容が、個別支援計画に沿ったものであることが求められます。</p>								

IV 良質な個別サービスの実施	a	28	b	3	c	0	Na	0
<p>全般的に良質なサービスが提供されています。特に優れているものとして、利用者を尊重し、施設の入りが自由であること、エンパワメントや就労訓練に寄与する「よろこびワーク」を取り入れたこと、更には、プライバシーの保護や過ごしやすい環境づくりのために個室化への取組を進めていること、ケア面では、健康管理や余暇・レクリエーションの充実が挙げられます。</p> <p>改善点として、家族との連携や利用者の地域生活への移行支援が挙げられます。施設の目的達成のため、難しい課題もあると思われませんが、諦めることなく取り組まれることを期待します。</p>								